

たけはら 由里子



あなた
女性の
ちからで
島はよみがえる!

後援会通信—令和3年夏季号—

たけはら由里子後援会 (発行元)

〒811-5133 壱岐市郷ノ浦町本村触637

TEL : 0920-40-0400

E-mail : yurikotakehara5@gmail.com

HP : <https://takeharayuriko.com>



HP



たけはら由里子 プロフィール

1964年4月18日生まれ (牡羊座、O型)

熊本県菊池市の専業農家 (酪農、肥育、米作) にて育つ

〈略歴〉

熊本大学 教育学部 卒業

熊本県玉名市内の小学校にて勤務

1990年、結婚を期に壱岐へ

壱岐市立盈科小学校、霞翠小学校 勤務

壱岐市内小中学校 学校司書

長崎県立壱岐商業高校 勤務

〈現在〉

「CONNET ひまわり」学習塾講師

サポートステーション相談員

〈地域での活動など〉

壱岐市地域婦人会連絡協議会 元会長

読み聞かせグループ「そらまめ劇団」

壱岐子ども劇場 事務局長

長崎県男女共同推進アドバイザー

壱岐市男女共同参画推進懇話会 会長

〈好きな言葉〉

「他に依って生き、他の光で輝く月ではなく、自ら輝く太陽であれ (平塚らいてう)」

〈好物〉

刺身、アスパラガス、壱州豆腐



あなた 女性のちからで島はよみがえる!

～島の未来のため 今こそ立ち上がるとき～

チャレンジを決意するに至った3つの思い

女性の声を議会に届け、 議会を活性化したい!!

子育て支援の政策や予算が少なくなっても、女性議員がいなくなったことで、議会で取り上げてもらえませんでした。女性の声をもっと政策決定の場に届けることで、異なる意見の尊重や多様性を認めるまちづくりをしたいと考えています。

大好きな壱岐を 子育てしやすい島に!!

20年前、「壱岐では障がいを持った子は育てられない」と、壱岐を離れた友人の声を聞いて危機感を持ち、自主育児サークル「ひまわり」を主宰。そして、仲間と共に子育て情報誌「きつずあいらんど」を発行しました。

また、文化芸術・体験・自学自習型の学び場・地域子ども教室などの第3の居場所づくりの活動に関わる中で、島を離れる親子が増えていることに危機感を持ちました。

自然豊かな壱岐でのオンライン交流で、世界に羽ばたく人財を育てたい。子育て世代の移住を増やすには、住環境の整備と医療・福祉と教育の充実が急務です。

壱岐を支えてきた高齢者からの バトンをつなげたい!!

「今の壱岐を何とかしたい」と、リコール署名活動をする高齢者(80代、90代)のひたむきな姿に感動しました。市政に対する熱い思いと行動力のバトンを受け取り、次世代につなげたいと考えています。

たけはら由里子 **は取り組みます!!**

行政の見える化

- ・税金の使い道や優先順位を数値化し、市政をチェックする
- ・市民のための広報公聴がされているか、チェックする。

議員研修を充実させ、議員定数を削減する

- ・人口比に対して議員定数が多く、削減が必要。

高齢者・障がい者(児)等の声を聴き、だれもが住みやすい島に

- ・高齢者や障がい者が生きがいをもって活躍できる場や気軽に集える機会を充実させる。

政治の庶民化

- ・女性や若い世代の意見を増やし、市民との意見交換会を定期的実施する。
- ・生活をよくするために、女性や若者がもっと政治に興味を持つ機会を作る。

メンタルヘルスを充実させ、大切な命を守る

- ・うつ症状などで受診できる医療機関や相談窓口が少ないため、県下でも自殺率が高い。残された家族のフォローも必要。

動植物・ひと・環境にも優しい島に! 豊かな食を子ども達に!

- ・壱岐の海を守るために、家庭からマイクロプラスチック問題に取り組む。
- ・「おはようございます」、「さようなら」、「ありがとうございます」、「ただいま」、「おかえり」等の挨拶を大事にしていきたい。
- ・地産地消、郷土料理などの壱岐の食材の良さを子ども達に伝えたい。

すべての子どもに学びと文化を保障する

- ・だれひとり取り残さない教育・・・不登校等の児童生徒の個別自学習型自習の推進。
- ・アートスタート・・・0歳から文化芸術に触れる機会を創る。

子育て支援の充実

- ・壱岐版ネウボラ(妊娠から就学前までの母子と家族支援)。
- ・壱岐の自然を活かした「森のようちえん」や学童保育の充実。

国際交流団体の設立と海外からの移住者サポート

- ・壱岐在住の外国人を講師に生きた英語でコミュニケーションを図る機会をつくる。

壱岐の農水産資源の有効化

- ・高付加価値をつけ、壱岐の資源を守り育て、外貨を稼ぐ仕組みをつくる。